

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスリズム		公表日		令和7年 3月 24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		建物の空間を有効に活用しています。活動内容に合わせて、色々な空間を使っています。	今後も継続していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基準よりも多く児童指導員や保育士を配置して支援しています。子ども達の気持ちに寄り添い支援していきます。	今後も継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	配慮が必要な部分に対して視覚的に分かりやすい環境を設定しています。	古い建物なので2階への移動等バリアフリーは厳しいです。階段等の段差は身体作り等に生かせる環境として捉えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		雨の日や必要に応じてプレイルームの運動用具等を活用しています。	プレイルームでの活動が好きなお子さんが多いです。はしゃぎ過ぎて怪我などに繋がらないようにしたいです。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別の場所をいつでも使えるよう、環境設定しています。	今後も継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		PDCAサイクルを心掛け毎日活動前後の打合せと振り返りを行っています。週1回のミーティングではケース検討を行いより良い支援ができるよう日々心掛けています。	今後も継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		スタッフミーティング時に保護者向け評価票を読み合わせて保護者の方の移行の把握に努めています。	今後も継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		活動前後の打合せや週1回のミーティングでスタッフの意見等を把握する機会を設け業務改善につなげています。	今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		保護者と所内での評価のみになっていますので、今後の検討課題とします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		外部研修に参加しています。事業所主催の「関係機関連携学習会」にて、他事業所との情報・意見交換を行っています。	毎月、所内で心理士のスタッフを講師をして関係機関との連携学習会を開催しています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		令和6年12月に公表しました。	今後も継続していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者面談で課題やニーズを整理しています。お子さんの行動観察をして個別支援計画を立てています。	今後も継続していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		スタッフ全員で意見を出し合います。色々な場面でお子さんにとって適切な課題の共通理解を大切にしています。	今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		放課後等デイサービスガイドラインを意識した支援を心掛けています。	今後も継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		課題内容や活動内容について毎週ミーティングで話し合い、共通の目標を持って取り組む事を目指しています。	今後も継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		個々の発達に合わせた言葉掛けや支援が出来るようにしたいです。個別の課題や集団の中での育ちも踏まえて個別支援計画を作成して	今後も継続していきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		いま。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		活動開始前に打合せを行いその日の活動内容や役割分担等を確認しています。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		非常勤スタッフの勤務時間の関係で支援終了後の打合せは常勤スタッフのみになってしまうので、翌日に活動前の打合せの時に共有しています。	活動開始前の打合せで前日の振り返りと支援の見直しや評価を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		関わったスタッフが記録をし、支援内容について打合せやミーティング時等で共有しています。次の機会に生かしています。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		6か月に1度、保護者との話しあいの場を設け、見直しを行っています。	今後も継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8		4つの基本活動を組み合わせながら目的に応じた支援を行っています。	今後も継続していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		「どちらにする?」「終了の時間は?」など提示して、選択する事、行動に移しやすい言葉掛け等、大切に関わっています。	今後も継続していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者と担当者が出席しています。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		主治医や学校の先生、学童の先生と連携を図っています。	今後も継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		送迎時に学校の先生からお話を聞いています。電話でも情報を共有しています。小学校からは下校時刻表をFAXで送っていただいています。	今後も継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		必要に応じて情報共有をしています。	今後も継続していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		保護者の要望に応じて情報共有をしています。	今後も継続していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		児童発達支援センターが同じ法人なので、連携を図り、必要に応じてスーパーバイズ等と受ける体制を整えています。	今後も継続していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	8	以前は交流の機会を設けていましたが、感染症対策の為、今年度は機会を設けませんでした。	感染症の状況を確認しながら、交流の機会を作っていきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		自立支援協議会の児童発達支援管理責任者部会に参加しています。	今後も継続していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の送迎の際にお子さんの状況や課題についてお伝えしたり、必要に応じて個別の相談の時間を設け共通理解を図っています。	今後も継続していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		ペアトレ等の保護者向け研修は行っておりませんが、面談や送迎時にお子さんへの対応について伝えるよう心掛けていきたいです。	保護者向けの研修等を検討しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に児童発達支援管理責任者が説明しています。	今後も継続していきます。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		保護者やお子さんからの希望や相談員さんの計画を元に、優先考慮の観点を踏まえ作成しています。	今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		保護者と一緒に計画書を確認しながら説明をさせていただき、同意をいただいています。	今後も継続していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		連絡ノートや送迎時、電話等で相談があった際には、詳しくお話を伺いアドバイスをしています。	今後も継続していきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		現在、保護者会のような活動はありませんが、親子行事で保護者同士の交流の機会を設けています。	きょうだい同士の交流も検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情があった場合の対応は整えています。また保護者には契約時に周知しています。	今後も継続していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月リズム通信を発行し、活動内容や子育てについてのコラムを掲載しています。また、法人のFacebookにも活動内容を投稿しています。	今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		契約時に保護者に同意書を頂いています。個人情報に記載された書類は事務所で管理しています。	今後も継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		個々に応じた配慮を言葉と共に視覚情報等も加えるなど、工夫しています。	今後も継続していきます。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		地域の団体に来所していただき、リース作りをしました。	近隣住民の方に事業の紹介等をしたいと思えます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを作成し、スタッフにはミーティング等で対応方法の確認をしています。保護者にはマニュアル等の情報の周知を図れるよう、玄関に常設しています。必要に応じて見直しを行っていきます。	今後も継続していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		事業所内で定期的に避難訓練を実施し、保護者に協力して頂き引き渡し訓練を実施しています。	今後も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		利用開始時に、健康状態を確認させて頂いています。	今後も継続していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		医師の指示書が必要なお子さんはいませんが、保護者からの依頼がある場合は配慮しています。	今後も継続していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画に沿って、研修・訓練を行っています。	今後も継続していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		避難訓練等については月1回発行の通信にて連絡しています。	来年度、保護者向けの「安全計画に基づく取り組み」を配布します。また、警察署に協力いただく安全教室については内容等事後報告します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		報告書に記載し、事故を未然に防げるようミーティングで共有しています。	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		法人内の虐待防止研修に参加し、事業所内で共有しています。	今後も継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		現在対象のお子さんはいませんが、お預かりする場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載していきます。	今後も継続していきます。